横小交通安全教室

交差点は止まって後方を確認

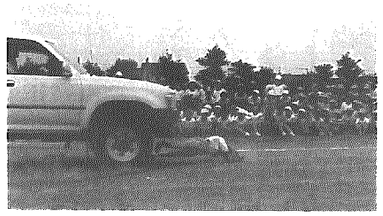
左折は、こうやって

一時停止や左右確認など交通ルールを学ぶ

子供たちを自転車事故から守ろうと六月六日、横越小学校四年生を対象とした交通安全教室が開かれ、警察や交通安全指導員による自転車の正しい乗り方の実技指導が行われました。

この交通安全教室は、模擬コースでの実技訓練を通して一時停止や左右確認などの方法を正しく知り、自転車による飛び出し事故などを防止しようというもので、『交差点では、必ず降りて安全確認、右左折、停止では、しっかりと合図』などの安全ルールを学んだ後、児童たちは指導員などが見守るなか、グランドに設けられた模擬道路を使って実技訓練に励みました。

このあと、新一年生と一緒にダミー人形による飛び出し事故の実験を見学し、その恐しさを学びました。


ダミー人形で、事故の恐しさを知る

横雲橋を「にいがたの橋50選」に

新潟県観光協会と新潟日報社の主催で県民が選ぶ「にいがたの橋50選」を募集しています。

この企画は、豊かな水の国新潟に架かる橋自体の機能、景観の美しさのみならず、見る人、住む人々の心に様々な思い出を生んだ「橋」を県民の投票で選ぶことにより、ふるさとの美の再発見と人間と橋との関わりを見つめ直そうというものです。

ところで、阿賀野川に架かる「横雲橋」は、「横越を流れる大河、阿賀に雲がたなびくかのように架かる長い橋」という意味を以って明治八年楠本県令から命名されました。

その後、橋は、幾度か架け替えられ、現在の橋は、五代目です。

その役割の重要性とともに老人福祉センターや銘菓の名前にも用いられるなど村民からも広く親しまれています。

ぜひとも横雲橋を「にいがたの橋50選」に当選させましょう。

□**応募方法**　候補橋名「横雲橋」㉜と記入し、郵便番号住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入

□**あて先**
〒951　新潟市西堀通3
新潟日報社開発部
「にいがたの橋50選」係

□**賞品**
①10万円旅行クーポン3名
②3万円旅行クーポン10名
③フジカラー写ルンです300名
※投票者全員の中から抽選でプレゼント

□**締切**　7月20日（当日消印有効）

中蒲原郡中学校体育大会結果

（会場　横越中学校ほか）
＝三位まで（6/9～6/10実施）

優勝した女子バレーボール

○軟式野球　第三位
○バレーボール女子　優勝
○バスケットボール女子　第三位
○卓球　団体　男子　第二位
個人　第三位　田中　克彦
〃　〃　長谷川寿史
○柔道　個人（軽量級）
第三位　五十嵐琢也
○剣道　団体　男子　優勝

第29回三市中蒲中学校陸上競技大会結果

（会場　村松町営陸上競技場）
（6/4実施）
＝三位まで

○女子走高跳
第二位　遠藤里恵　1m38
○四百m競走
第三位　山田裕史　57秒6

救急車出動状況

◆5月の出動件数　22(31)

主な出動原因		
	交通事故	10(11)
	一般負傷	6(10)
	急病	6(10)

（　）は4月以降の累計

7月の納税等

固定資産税　2期
国民年金保険料　4期（7月分）

「なんでも相談」のご利用を

7月20日(月)
午前9時～午後4時
役場村長室

三市中蒲原郡中学校体育大会結果

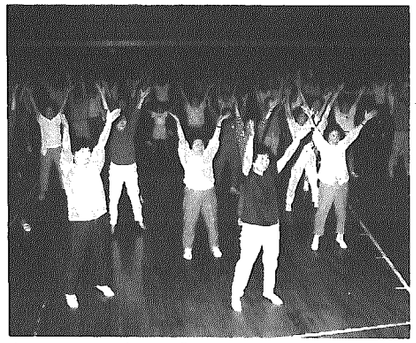
6/17～6/18実施＝3位まで
○バレーボール
女子　優勝
○卓球団体
男子　第3位
個人戦　男子
長谷川寿史　第3位
○剣道団体
男子　第3位

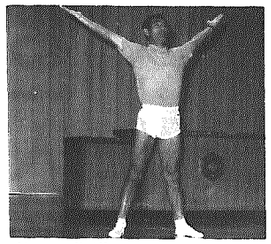
税金を　納めてつくる　良い社会（沢海　清水長利）

ラジオ体操

指導者講習会始まる

地域から160名参加




熱心に指導する関川正明先生

NHK特別巡回ラジオ体操会が、九月十五日、横越中学校グランドで開催されることになりました。

ところで、五月十九日に第一回実行委員会を開催し、大会々長に浅見村長を選任し、九月十五日までの日程を決めました。

それに基ずき、六月二十二日、NHKラジオ体操会幹部指導者である関川正明先生を招いて、村内各地域から推薦された指導員の皆さん百六十名が横越小学校の体育館に集まり、第一回指導者講習会を開催しました。

会場には、名地域から推薦された老若男女の方が、真剣に取り組んでいました。

中央公民館では、九月十五日の本番に向けて、これからも一回の指導員の講習会を計画しています。

皆さん、地域で職場でこのラジオ体操会成功にむけ頑張りましょう。

感謝します「緑の羽根」募金
お役に立ちます六四七、〇八八円

「緑の羽根」募金は、森林や緑に対する多様化した要望に少しでも応えていこうという趣旨で、新潟県独自の取り組みとして実施されました。

皆様より一戸三百円程度の募金をお願い申し上げましたところ、募金総額で六四七、〇八八円となりました。

このことは、村民の皆様のご理解とご協力の賜と厚くお礼申し上げますとともに募金結果について、ご報告申し上げます。

緑のボランティアが自主活動展開

緑のボランティア（代表入山敏男　会員21名）が、このほど役場周辺の除草を行いました。

ボランティアでは、平成四年度において、役場及び福祉センターの草取りやサツキの剪定、松の剪定などを計画しております。

なお、会では、今年度から

陶友会が講習会

陶芸教室の陶友会（代表星成雄）では、会員の陶芸技術の向上を図るため、このたび、安田町の渡部由春先生を招いて講習会を開催しました。この講習会は、今年度六回計画しています。

熱心に見つめる会員

和気あいあい手工芸教室

手工芸教室は、現在、会員十名で毎週金曜日の午後一時から午後四時まで老人福祉センターで開催しています。

会費は、篠ずるの実費代で新規会員も加わり和気あいあいの中でも熱心に篠ずるづくりに励んでいました。

農業危機突破県下農民代表者大会
県下から500名が参加

コメ開放阻止を訴える
高橋 農対事務局長

農業危機突破県下農民代表者大会が、六月二十日(土)、沢海の農村環境改善センターに県下から五百名の農民代表が集まり大会を開催しました。

村から佐藤収入役が出席し「農政を取り巻く環境は、厳しいが、皆様とともに連帯して、この危機を突破していきたい」と挨拶された。

村からも農政対策協議会を中心に三十名が参加しました。

大会では、農民の怒りの大声大会などユニークな内容を盛りこみ、賞品の越の寒梅、雪中梅、八海山など県下の銘酒を目指して、大声を発っするたびに会場を爆笑のうずにつつんでいました。

最後に、要求米価二万五千円以上、コメ市場開放阻止などのスローガンを採択して、大会を終了しました。